

# 岡山大学 MONTHLY DIGEST

VOL. 37  
2019.5

TOPICS

1

## 岡山大学創立70周年記念式典を挙げる



5月31日に迎える創立70周年を記念して19日、記念式典をホテルグランヴィア岡山で挙行しました。

学内関係者や本学の卒業生、名誉教授のほか、県内外の教育関係者や政財界関係者など約300人が出席しました。榎野学長が、「教育研究と社会貢献を通じて、地球と人類社会におけるSustainabilityとWell-beingを追究し、地域の皆さまとともに、岡山から世界に、新たな価値を創造し続けたい」と式辞。柴山昌彦文部科学大臣（伯井美徳高等教育局長代読）と伊原木隆太岡山県知事が祝辞を述べました。

式典に続く記念講演で、榎野学長は「時を超え未来に受け継ぐ、岡山の『熱意』と建学の『精神』」と題して、SDGs大学経営を盛り込んだ本学の新たなステージへの展望を紹介しました。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id8527.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id8527.html)



TOPICS

2

## 世代を超えたSDGs推進を！ 「SDGsユースプロジェクト」始動

SDGsで高校生をつなぐ全国プロジェクト「SDGsユースプロジェクト」が小村俊平学長特別補佐の発案で、東京オフィス協同のもと始動しました。

キックオフとなる第1回は、SDGsのゴール16「平和と公正をすべての人に」をテーマに、各地の34人の高校生が参加。社会活動家の森下雄一郎氏をゲストに、高校生らと共に世代を超えて、平和な社会のあり方について議論を深めました。本学からは、SDGs推進本部の狩野光伸副理事らが参加。講演やディスカッションの内容をイラストで図式化するグラフィック・ファシリテーションも行い、参加者からは「言葉を図式化することで、物事を捉えることができた」と、好評でした。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id8532.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id8532.html)



pick up!

### 岡山大学1期生 岡山大学Alumni(全学同窓会)会長 小長啓一氏へ「特別名誉会員称号」を授与



創立70周年記念式典では、本学の発展に格別の貢献をいただいた方を顕彰する「特別名誉会員」の初の称号付与も行い、本学法文学部第1期生の、小長啓一岡山大学Alumni(全学同窓会)会長に榎野学長が特別名誉会員記を贈呈しました。上田久利名誉教授が制作した、小長会長の胸像レリーフも贈りました。

小長氏は、「リーダーの資格と生きざまー田中角栄元首相生誕100周年に想うー」と題し講演。田中元首相秘書官や通産事務次官などを歴任した自身の経験を振り返り、リーダーに求められる資質や困難を突破するための心構えを話しました。

TOPICS

3

## 赤木准教授(農)が文部科学大臣表彰を受賞

日本の科学技術の発展に寄与する独創性の高い研究や開発を行った研究者を称える「平成31年度科学技術分野の文部科学大臣表彰」の受賞者が決まり、科学技術賞若手科学者賞に大学院環境生命科学研究所(農学系)の赤木剛士准教授が選ばれました。

赤木准教授は「被子植物の性決定進化に関する研究」で、文部科学省、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の推薦をもとに受賞しました。赤木准教授は、主に果実・花を用いて、農産物の価値に関与するさまざまな重要形質を扱い、人為的にそれらの制御を行う技術の開発を目指しています。園芸作物の花器官における多様な「性決定・性表現」の制御機構や、果実の形状・生理障害に関する研究を行うとともに、ディープラーニング(AI)技術の適用による青果物の品質判断・嗜好性に寄与する要因の解明にも挑戦しています。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id8529.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id8529.html)

PRESS  
RELEASE

1

人工知能(AI)を用いた  
早期胃がん内視鏡診断システムを開発

大学院医歯薬学総合研究科の河原祥朗教授(実践地域内視鏡学)、大学院ヘルスシステム統合科学研究科の相田敏明講師、岡山大学病院消化器内科の濱田健太医師、株式会社両備システムズIoT、AI事業推進室の研究グループは人工知能(AI)を用いた早期胃がんの内視鏡診断システムを開発しました。

早期胃がんの治療法には、胃を温存できる内視鏡治療(ESD)と胃切除が必要な外科的治療があります。その選択には病変の正確な深達度診断が必要ですが、施行医が画像を見て経験に基づいて診断を行っているのが実情です。個々の医師によりその診断能にはバラツキがあり、本来の適応でない治療法が選択されることも稀ではありません。本システムを用いることで、その診断能の均一化、正診率の向上、確実な治療法の選択が期待されます。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release\\_id629.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id629.html)

PRESS  
RELEASE

2

ライフプランを考えるあなたへ  
—まんがで読む—未来への選択肢(拡大版)を作成

大学院保健学研究科では、LGBT(L:レズビアン、G:ゲイ、B:バイセクシュアル、T:トランスジェンダー)の子どもたちへ向け「ライフプランを考えるあなたへ—まんがで読む—未来への選択肢(拡大版)」(写真左)を作成しました。

2015年に作成した中学・高校生向けの妊孕性啓発教材の内容をベースに、LGBTの子どもが自身の将来像を考えることができるよう、拡大版では、従来版では述べられなかった「性の多様性と家族形成」についても触れています。LGBTの子どもにとって、目前の問題を解決することも重要ですが、将来のライフプランを考えることも必要です。多くの人々が手に取ってくれることを願います。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release\\_id627.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id627.html)

